



# 日本がどうあるべきなのか 積極的な議論を期待

弁護士としては珍しい企業経営者との「二刀流」でも知られる田邊勝己弁護士が各界のリーダーを訪ねる特別企画。記念すべき第1回は、先ごろ自衛隊発足70周年を迎えたことにちなみ、河野克俊元自衛隊統合幕僚長を訪問。歴代2位の在職期間にわたり自衛隊を統率してきた河野氏の意外なエピソードも。  
聞き手／弁護士法人カイロス総合法律事務所 代表弁護士 田邊勝己氏

## 防衛大の補欠合格から 最高位に就いたレジエント

**田邊** 統合幕僚長というお肩書きは、どんな階級をイメージすればよいですか？

**河野** 昔で言えば大将にあたります。元帥という言葉をよく聞きますが、あれは階級ではなくて「元帥東郷平八郎海軍大将」「元帥山本五十六海軍大将」となります。

**田邊** 私は人助けをしたいという想いから法律家を志したのですが、統幕長ともなると国民という単位になるのでしょうか。

**河野** それで、旧海軍から海上自衛隊に進んだ父親の想いに引っ張られたというのが本当のところですね。5人きょうだいの男3人のうち誰かが継がなければという事情に加えて、全寮制の生活に慣れたという程度の意識で、防衛大

学校も補欠合格でしたし。  
**田邊** その若者が統幕長にま

で昇り詰めたとなると、逆に伝説なのでは（笑）。

**河野** 防衛大の若者諸君への講話でよく話しました。「人生、何が起るかわからないぞ」「諦めちゃいけない」と、実感を込めて（笑）。

**田邊** 弁護士は単独行動が多いのですが、法律家でも裁判官や検察官の方々は組織人です。自衛隊という巨大かつ責任重大な組織を統率するとなると究極の管理職ですが、何か心がけておられたことは？

**河野** 細かいことですが、話を最後まで聞くことは気をつけていました。部下の報告を遮って怒鳴り出すと即パワハラの時代ですが、それ以前に知りたい情報が得られませんか（笑）。

**田邊** 私も駆け出しの頃、ボスから「山より大きな狼は出ない」とよく言われました。恐れず何でも相談しなさい、と。  
**河野** ああ、いい言葉ですね。

## 女性登用から憲法改正まで 社会的議論の活発化に期待

**河野** あとは、どこから人に任せられるかを見極める力の重要性を痛感しました。階級が上がれば、自動的にも能力も上がるわけではないですから。

**田邊** 災害や事故への対応を指揮するとなると、震えるほど緊張しそうです。

**河野** 実際、緊急時は心細くて、それでは意思決定が遅れますので、責任を負う覚悟を早く固めて、少数精鋭で迅速に動くことが求められます。

**田邊** 時代によって変わることなどはありますか？

**河野** ありますね。昔は「船上でスマホを使ったらどうなるか」なんて考えもしませんでしたから（笑）。今はセキュリティなど準備すべきことがたくさんあります。

**田邊** 時代の変化と言えば、法曹界では弁護士・検事・裁判官の法曹三者でトップに女性が就任しています。自衛隊も女性の受け入れに積極的ですよ。

**河野** 昨年末、女性海将が誕生しましたよ。海上自衛隊の大湊地方総監部のトップで、昔で言えば中將にあたります。

**田邊** 女性の活躍は目覚ましいですね。一方で憲法改正の議論なども含めて、これからは大きな変化もありそうです。

**河野** 国際社会からの要求が厳しくなり、隊員不足も年々深刻化しています。自衛隊がどうあるべきか、日本がどうあるべきかという視点で積極的な議論を期待したいですね。

次号9/10発行第2回目は、第80代警視總監井上幸彦様になります。乞うご期待を！（オウム事件統括）



河野 克俊  
こうの・かつし

### PROFILE

第31代海上幕僚長、第5代統合幕僚長。防衛大学校卒業後、海上自衛隊入隊。2019年の退官まで自衛隊46年。統合幕僚長異例の4年半在任。自衛官トップとして、PKO・大規模災害・北朝鮮ミサイル・尖閣など、数々の日本の危機を統合指揮。著書「統合幕僚長：我がリーダーの心得」。テレビなどの討論番組やニュース番組などにも多数出演

### PROFILE

弁護士。中央大学法学部法律学科卒業後、司法試験に合格し、1989年弁護士登録。第一東京弁護士会を経て、大阪弁護士会所属。東京簡易裁判所民事調停委員、東京地方裁判所破産管財人、第一東京弁護士会常議員を歴任。また、東証スタンダード上場THE WHY HOW DO COMPANY株式会社の筆頭株主兼代表取締役会長、伊香保ゴルフ倶楽部理事長を兼任。取扱分野は民事法、刑事法、刑事法、企業再建法、MSA法、資金調達、スタートアップ支援。



田邊 勝己  
たなべ・かつき